



2024年12月期 連結決算報告 中期経営計画 2027 (2025/12期～2027/12期)

2025年2月14日
クリエイトメディック株式会社
代表取締役社長 今澤 修

- 国内：医療業界は新型コロナの影響も緩和、正常化に推移
- 海外：中国は不動産市場の低迷が経済に影響、世界的な地政学的リスクの高まり

国内市場

医療インフラ

- 国内医療政策の変革
 - 地域医療構想の推進、医療機能の分化と在宅医療へのシフト
- 医療保険財政
 - 公定価格制度、共同購入による価格引下げ
- 医療機器規制による安全性の厳格化
- 環境汚染対策
 - 酸化エチレン排出規制の対応義務化

社会・経済

- 社会・経済
 - 地政学的リスクの高まりとサプライチェーンへの影響
 - 世界的なインフレによる源流メーカーの値上げ
 - 最低賃金改定による生産コストの上昇
 - 急激な為替変動による海外生産品のコスト上昇

海外市場

中国

- 医療政策
 - 2040年に65歳以上が2割を占める超高齢社会
 - 医療財政の負担を基に「集中購買」、「二票制」による購入費の削減
 - 医療機器の国産化の促進
- 社会
 - 不動産市場の低迷と不良債権問題

欧州

- 医療政策
 - 医療機器規制による安全性強化
 - EU：MDR認証遅れによるMDD認証延長措置
 - 英国：UKCAマーク申請延期

連結業績サマリー



売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
13,030	692	750	840
△1 (△0.0%) +444 (+3.5%)	△175 (△20.2%) △110 (△13.8%)	△149 (△16.7%) △122 (△14.1%)	△126 (△13.0%) +686 (+446.0%)

上段:予算比、下段:前期比 (百万円)

■ 連結業績

- 売上高は、OEM販売は減少、自社販売の価格改定効果と中国販売は好調により増加
- 利益面では、円安による輸入仕入コストの増加により売上原価率が上昇、
また、本社移転に伴う経費の増加により、営業利益・経常利益は減少
- 当期純利益は、本社売却による特別利益の計上、前期発生の上延税金資産の取崩しの
反動により大幅増加

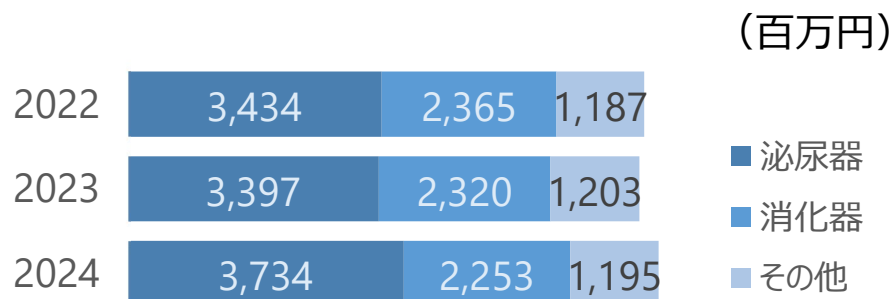
売上推移（販売形態別）



売上推移

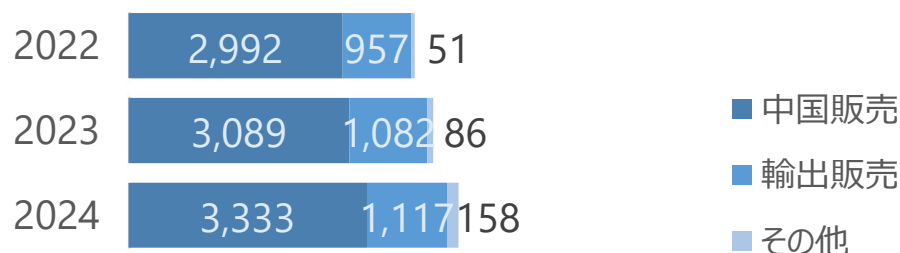
コメント

自社販売



- 自社販売 7,182M（前期比+3.8%）
 - 泌尿器 3,734M（前期比+9.9%）
フォーリートレイキット、尿管留置用ステントは売上増加
販売価格改定の効果
 - 消化器 2,253M（前期比△2.9%）
胃瘻関連製品は競争激化により売上減少

海外販売



- 海外販売 4,608M（前期比+8.3%）
 - 中国販売 3,333M（前期比+7.9%）
消化器製品のイレウスチューブは売上増加
 - 輸出版売 1,117M（前期比+3.2%）
欧州向けの消化器の胃瘻関連製品は好調

OEM販売



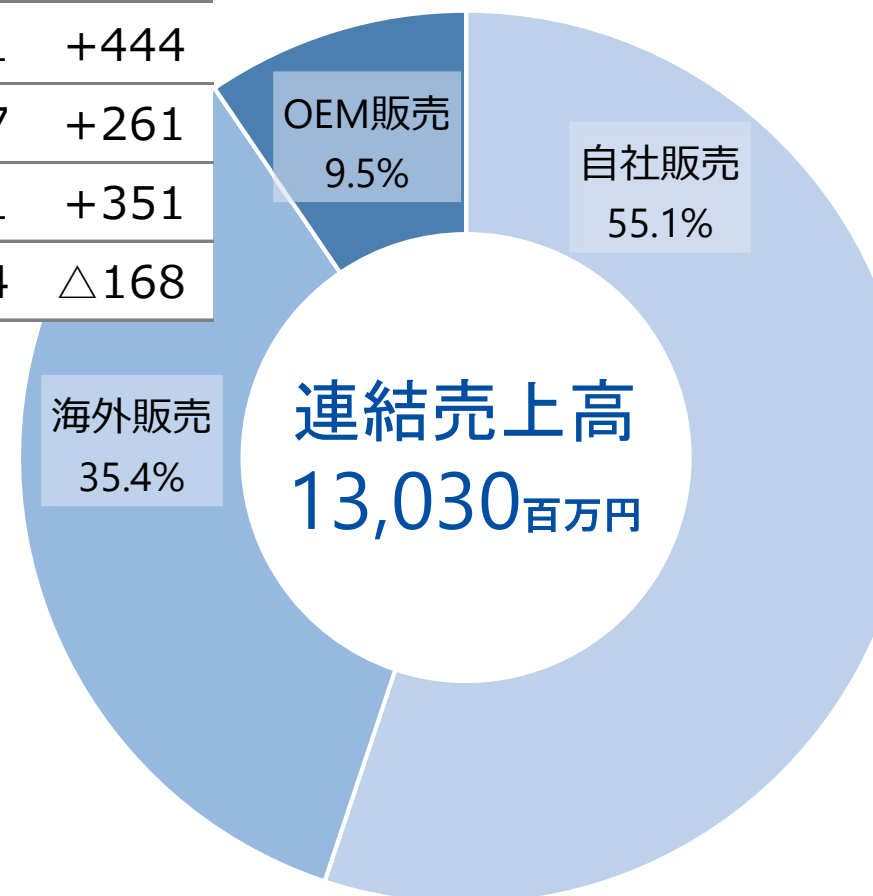
- OEM販売 1,239M（前期比△12.0%）
血管系製品は一部製品の販売終了により減少

売上構成（販売形態別）

(百万円)

	2022	2023	2024予	2024	予算比	前年比
総合計	12,326	12,585	13,032	13,030	△1	+444
自社販売	6,986	6,920	7,300	7,182	△117	+261
海外販売	4,000	4,257	4,428	4,608	+181	+351
OEM販売	1,340	1,407	1,304	1,239	△64	△168

売上構成比



販売費及び一般管理費



(百万円)

	2022	2023	2024	増減額	
販売費及び一般管理費	4,654	4,675	5,011	+ 336	
人件費	2,807	2,789	2,882	+ 93	機構改革による売上原価からの移行
給与手当	2,095	2,098	2,196	+ 98	グループ全社のベースアップ
経費	1,846	1,885	2,128	+ 243	
消耗品費	65	47	104	+ 56	本社移転に伴う費用、PCの入替
支払手数料	257	285	339	+ 53	製品修理、自己株式取得関連
福利厚生費	47	54	77	+ 23	大連クリエートの福利厚生費
減価償却費	304	338	361	+ 23	本社移転による減価償却の前倒し

営業利益分析



2023/12期 : 803

(百万円)

自社販売価格改定

+230

生産のコストダウン

+23

グループ全体の売上増加

+21

為替影響による影響

△69

収益認識基準による調整影響

△22

中国販売の売価下落の影響

△25

販管費の増加

グループ全社のベースアップなどによる増加

△268

2024/12期 : 692

経常利益、当期純利益



(百万円)

	2022	2023	2024	増減額	
営業利益	741	803	692	△110	
営業外収益	103	86	73	△13	受取利息、受取配当金など
営業外費用	9	17	15	△1	支払利息、固定資産除却損
経常利益	834	872	750	△122	
特別利益	28	56	390	+334	本社移転の譲渡益、 大連クリエートの補助金収入
特別損失	0	24	53	+28	投資有価証券の評価損 製品廃棄損
法人税等	380	750	245	△504	
当期純利益	482	154	840	+686	

設備投資、研究開発費

■ 設備投資額：456M

主な設備投資

国内：238M

- 受注データシステムの構築 : 57M
- 情報インフラ設備への投資 : 15M
- 生産設備の取得 : 51M

海外：217M

- 大連クリエイト生産設備 : 153M
- ベトナムクリエイト生産設備 : 61M

■ 研究開発費：835M

(売上高比率：6.42%)

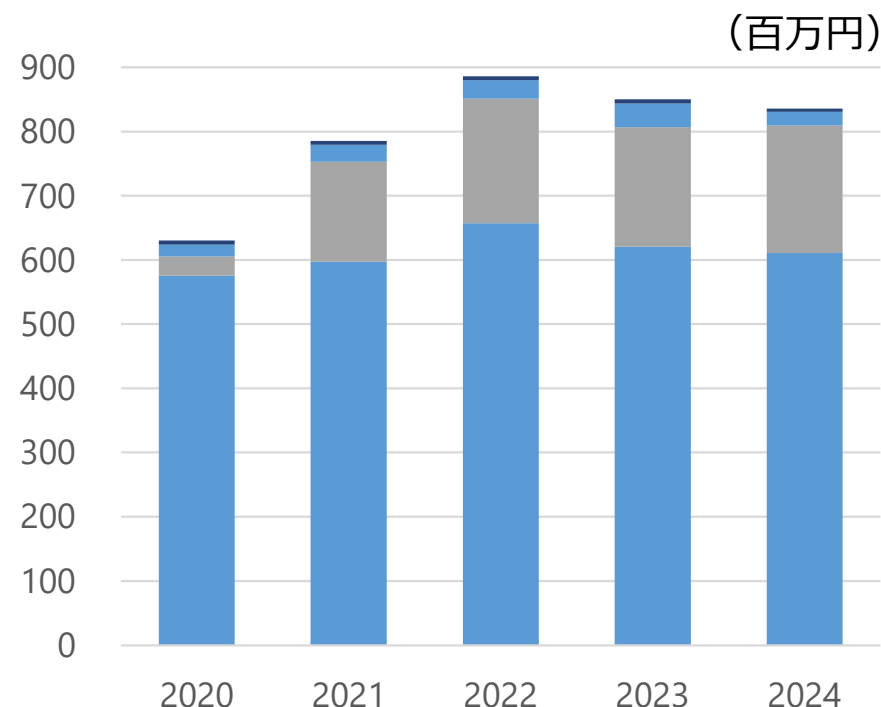
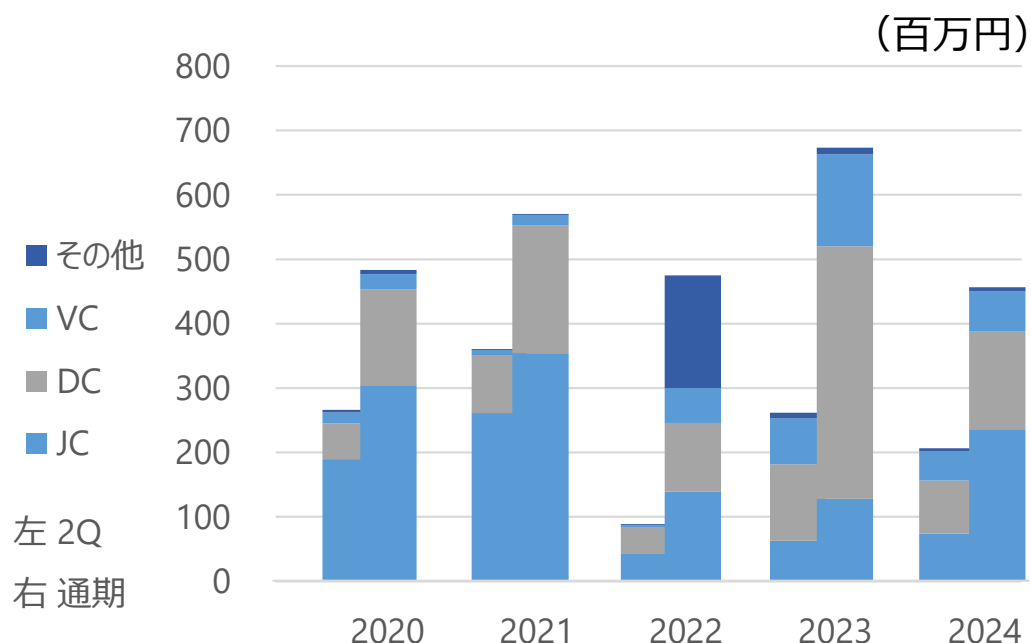
主な増減要因

国内 △11M

- 人件費 +39M
- 減価償却費 △48M

海外 △3M

- 生物学的安全性試験関連 △14M



財政状態について

- 流動資産：現金預金は土地売却等により +1,925M
売上債権、棚卸資産減少△658
- 固定資産：本社土地売却 △557M
ソーシャルボンド出資、評価益 +165M
- 流動負債：買掛金、未払消費税他 +137M

- 固定負債：退職給付に係る負債他 △155M
- 純資産：自己株式の取得 △496M
利益剰余金 +491M
為替換算調整勘定 +644

	期首	期末	増減額
流動資産	12,722	13,940	+1,217
現金及び預金	4,392	6,317	+1,925
売上債権	3,427	3,162	△265
棚卸資産	4,314	3,921	△393
固定資産	6,535	6,107	△428
有形固定資産	5,389	4,843	△545
無形固定資産	565	532	△33
投資有価証券	454	619	+165
繰延税金資産	85	71	△13
資産 合計	19,258	20,047	+788

(百万円)

	期首	期末	増減額
流動負債	2,967	3,105	+137
固定負債	1,347	1,191	△155
退職給付に係る負債	1,004	836	△168
負債 合計	4,314	4,296	△17
資本	1,461	1,461	+0
利益剰余金	10,586	11,078	+491
自己株式	△506	△1,003	△496
為替換算調整勘定	1,735	2,380	+644
純資産 合計	14,944	15,750	+806
負債純資産 合計	19,258	20,047	+788

連結キャッシュ・フロー



	2023	2024
営業活動によるキャッシュ・フロー	698	2,249
税金等調整前当期純利益	904	1,086
減価償却費	588	636
売上債権の増減額	100	272
棚卸資産の増減額	△346	582
有形固定資産売却益	0	△301
投資活動によるキャッシュ・フロー	△363	270
有形固定資産の取得による支出	△434	△386
有形固定資産の売却による収入	0	772
財務活動によるキャッシュ・フロー	△362	△877
自己株式の取得による支出	0	△499
配当金の支払額	△335	△348
現金及び現金同等物の増加額	68	1,891
現金及び現金同等物期末残高	3,770	5,662

- 営業活動によるキャッシュ・フロー：2,249M
 - 税金等調整前当期純利益(損失)：+1,086M
 - 棚卸資産の減少額：+582M
 - 有形固定資産の売却益：△301M
- 投資活動によるキャッシュ・フロー：+270M
 - 有形固定資産の売却による収入：+772M
- 財務活動によるキャッシュ・フロー：△877M
 - 自己株式の取得による支出：△499M
- 現金及び現金同等物の増加額：1,891M

(百万円)

前中期の振り返り ～重点施策の進捗～

重点施策	進捗	今後の課題
1. 国内販売の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自社販売は価格改定により原価高を吸収 ✓ OEMは新規案件の取引中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・利益率の改善 ・事業ポートフォリオ再構築
2. 海外の新市場開拓	<ul style="list-style-type: none"> ✓ EUは撤退企業の代替需要 ✓ 東南アジアなど新興国は調査継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国販売の拡大 ・インド・東南アジア進出
3. 新製品の自社開発	<ul style="list-style-type: none"> ✓ フォーリトレイやPEG関連のタイプ追加、消化器用がトワイヤーなど発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・成長投資の集中戦略 ・開発のスピード化
4. 新規事業の探索	<ul style="list-style-type: none"> ✓ M&A、アライアンスの検討は継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業の探索 ・M&A、アライアンス推進
5. 10年後の事業発展に資する将来構想	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 将来構想、バックキャスト戦略の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業風土改革 ・従業員のエンゲージメント
6. 人材の育成、多様性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外国人採用の活動 ✓ 高度専門人材の獲得に着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・人的資本経営の強化 ・人材ポートフォリオ策定
7. DX戦略の推進	<ul style="list-style-type: none"> ✓ MD-Net（電子商取引受発注業務）の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・DX化、システム化推進
8. サステナビリティの取組み	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Y-SDGs（横浜市）、横浜健康経営の取得 ✓ マテリアリティの取組、人権方針の公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出削減の目標・戦略の策定

前中期の振り返り ～経営目標の総括～

- 売上高は、OEM販売の新規案件が中止となり計画未達
- 経常利益は、原材料や物流費の高騰、円安の影響により大幅未達

中期経営目標 2025

売上高：140.0億円

経常利益：14.0億円

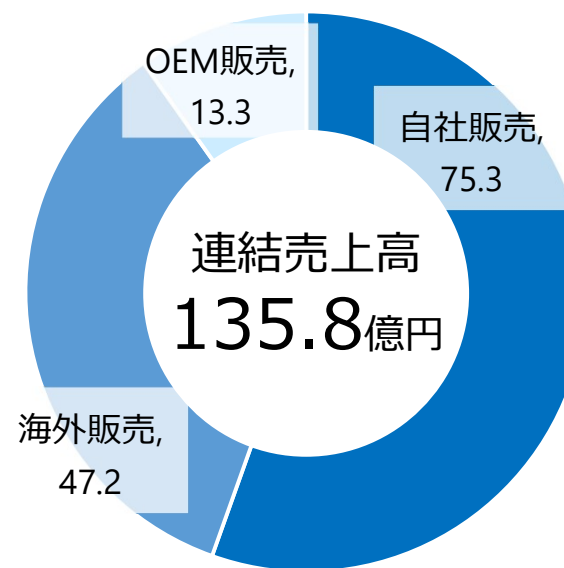
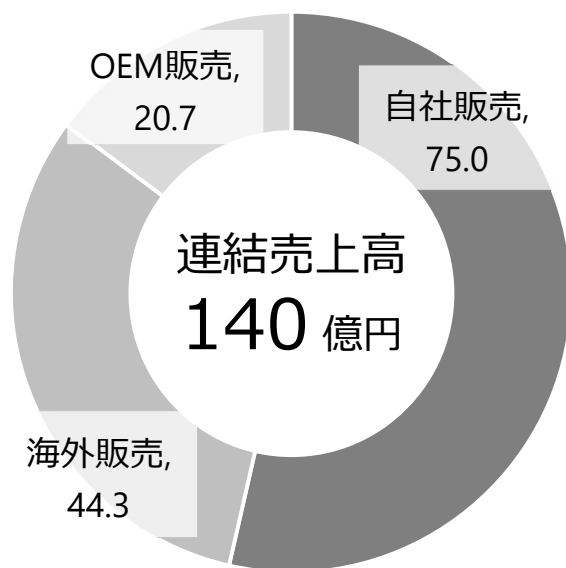
2025 業績予想

売上高：135.8億円 ▼

経常利益：10.4億円 ▼

売上・利益とも計画未達

販売形態別売上



将来構想 ～10年後のありたい姿～

経営理念

からだにやさしい未来の医療を築く

10年後の ありたい姿

1. 医療を通じ大きく**社会に貢献**できる企業でありたい
2. **ブランド力と知名度**の高い企業でありたい
3. **従業員がやりがい**をもって生き活きと働ける企業でありたい

2034年 経営目標

売上高 200億円超

営業利益 30億円超
(営業利益率15%)

国内
100億円

海外
100億円

ROE 8%以上

※ 海外売上比率50%以上

将来構想 ～バックキャスト戦略～

- Phase I (2025-27) : **基盤の構築、成長領域への投資**
利益率改善、新規事業や新市場の探索と成長領域への投資
- Phase II (2028-30) : **新たな事業の追求と深化**
新規事業・新市場における事業化の推進
- Phase III (2031-34) : **10年後ありたい姿の実現**
新たな事業の収益化、既存事業の再編によるありたい姿の実現

2031
～2034

- 社会への貢献
- ブランドと知名度の向上
- 従業員のやりがい

2028
～2030

- QOL高める製品開発の実現、上市
- インド、東南アジア事業の強化、推進
- M&A・アライアンスによる製品サービスの創出

2025
～2027

社会への貢献

- QOL を高める製品開発
- 新興国のニーズ探索
- 患者様に安全・安心を届ける
- サステナビリティの推進

ブランドと知名度の向上

- 連結グループ増益確保
- 事業ポートフォリオの再構築
- 海外事業の強化
- 新規事業の立ち上げ
- 専門人材の獲得

従業員のやりがい

- 企業風土改革
- 人的資本経営の強化
- 従業員エンゲージメント
- 人材ポートフォリオ策定
- 人事評価・処遇の充実

「中期経営計画 2027」

(2025/12期～2027/12期)

今中期は、海外事業や新規事業の種まきの期間と位置付ける

経営目標
(2027/12期)

売上高
160億円

営業利益
13億円

ROE
7.0%

将来構想 Phase I (2025-27) : **基盤の構築、成長領域への投資**

重点施策

1 ブランドと知名度の向上

2 社会への貢献

3 従業員のやりがい

連結業績予想（2025年通期）

■ 連結業績

（百万円）

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
13,583 + 552 + 4.2%	1,002 + 309 + 44.7%	1,043 + 292 + 39.0%	796 △ 44 △ 5.3%

上段:増減額、下段:増減率

- 連結グループの増益体制の確保
- 販売価格改定、新製品上市による増加
- 利益は、生産のコストダウン、販管費抑制策の取組み

■ 販売形態別売上高

自社販売 + 4.8%	新製品の上市 販売価格の改定	OEM販売 + 6.9%	新規受注 営業体制強化
海外販売 + 2.0%	インド・インドネシアの新市場開拓 中国は販売地域、対象病院の拡大		

資本コストや株価を意識した経営

経営指標		営業利益率	ROE	資本コスト	PBR
	2024/12期	5.3%	5.5%	4.6%	0.50倍
2027目標	8.0%	7.0%	-	0.70倍	

■ PBR1倍に向けた対応

重点施策	進捗	今後の取組
1. 中期経営計画の達成	✓ 現行計画（2023-25）は終了	・将来構想、新経営体制を基に 新中期経営計画の追求
2. 売上高純利益率の改善	✓ 自社販売の販売価格改定 ✓ 事業所集約による維持費用の削減	・販売価格の改定 ・原価低減・販管費の抑制
3. 総資産回転率の改善	✓ 本社事業所の売却	・事業ポートフォリオの再構築 ・資産の効率化、資金の有効活用
4. 企業価値の向上	✓ 株主還元の充実として 自社株買い5億円の実施	・総還元性向50%の維持 ・IR・情報開示の推進

■ 配当金

2023実績	2024実績	2025予想
37.0 円 中間 17.0円 期末 20.0円	39.0 円 中間 19.0円※ 期末 20.0円	37.0 円 中間 17.0円 期末 20.0円

※50周年記念配当+ 2 円

■ 自己株式の取得

- 株式総数：220,000株（上限）
- 取得金額：2億円（上限）
- 取得期間：2025年2月14日～2025年8月29日



将来情報に関する注意事項

当資料に記載されている将来情報は、現時点の見通しに基づくものであり、
予期せぬ事象や経営環境の変化により実際と異なる可能性があります